

皆様、今号は2024年、今年最初のASADA通信となります！改めまして昨年はお世話になりました。  
本年も引き続き、宜しくお願い申し上げます！

年明けより、悲しいニュースや、楽しくない話題の方が多くありますが、これからきっと明るいニュース、楽しい話題が来ると信じております。なので、まずは自分の身近なところのちょっとしたところから、そんな楽しい話題を作れるよう意識して生活していきたいと思っております。

今号の話題は『不動産 相続登記義務化』です。  
民法・不動産登記法(所有者不明土地関係)の改正等に関する要綱案が、令和3年12月14日に閣議決定され、**令和6年4月1日**を施行日とし、完全に**義務化**となります。

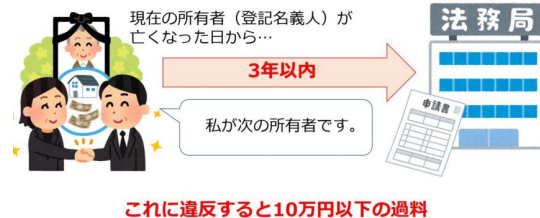
### ☆相続登記とは

相続登記とは、被相続人(亡くなった人)が所有していた不動産の名義を、相続人の名義へ変更することを言います。不動産の所有者は法務局の登記簿(登記事項証明書)に記録されていますが、不動産を相続した人は相続を原因とする所有権移転登記、いわゆる相続登記を申請する必要があります。

### ☆相続登記の義務化とは

相続登記の義務化には3つの大事なポイントがあります。

- ① 相続登記の義務化は令和6年4月1日から
- ② 不動産を相続したことを知った時から3年以内に登記しなければ、10万円以下の過料が科せられる
- ③ 過去の相続分も義務化の対象



- ②の「不動産を相続したことを知った時」とは、相続の開始があったことを知り、かつ、その所有権を取得したことを知った日のことを指します。つまり、相続財産に不動産があることを知らなければ、登記義務は生じないこととなります。ですが現実には、例えばお父様が不動産を所有しているかどうかは、遺言の記載もそうですが、大体多くの皆様は知っていますよね。
- ③の義務化の施行日(令和6年4月1日)以前に発生していた相続にも遡及して適用されるのもポイントです。遡及とは、過去にさかのぼり法律の効力が発生することです。つまり、過去に相続した相続登記未了の不動産も登記義務化の対象となります。

### ☆義務化の背景は所有者不明土地の問題

この義務化の背景には「所有者不明土地」の問題があります。所有者不明土地とは、登記簿等を調べても所有者が直ちに判明しない土地、所有者が判明してもその所有者に連絡がつかない土地のことです。所有者不明土地は、公共事業や復旧・復興事業を進める上での妨げになったり、空き地として長い間放置され、周辺の治安や公衆衛生に悪影響を及ぼす恐れがあります。

**この所有者不明土地は、国土交通省調査によると日本の国土の24%にのぼると推定されており、これは九州全土の面積を上回ります。**

この所有者不明土地が発生する大きな要因の一つとして**相続登記の未了**が挙げられているのです。相続登記がされないと、登記簿上の所有者は亡くなった人のままであり、その状態が長年放置されて相続人の数が膨大になったり、相続人が音信不通や行方不明になったりして所有者不明土地となります。そこで、所有者不明土地の発生を予防する為に相続登記が義務化されることになりました。

### ☆相続登記しない人、何故多い？

この義務化に至るまで相続登記がされてこなかった理由は何なのか？それは**手続きが煩雑**だという側面があります。相続登記の手続きは、決して簡単ではありません。戸籍謄本等の必要書類を揃えるのにいくつもの役所を周り、また、**費用もかかります。**

相続登記には、登録免許税という税金や各種証明書の手数料、司法書士に依頼した場合の報酬など様々な費用がかかるのです。

こういったことが理由で、相続登記が行われないことが多くなっているのです。これらが相続登記の義務化の内容となります。ちなみに、**住所や氏名の変更登記もその2年後の令和8年4月1日より義務化となります。**今後は登記の変更が生じた場合にはお早めに登記の申請をする必要がありますね。皆さまご注意くださいませ。



## 今月のテーマ

### I 「女性外来」の先駆者

対馬ルリ子氏

### 一流から学ぶ シリーズII

### II 〈麻田秀人の部屋〉

### 『不動産 相続登記義務化』

想いをのせて **感謝** ありがとう

新年明けて早々に石川県能登半島でM7.6の大地震が発生しました。この地震でお亡くなりになられた方々に心よりお悔やみ申し上げますと共にご冥福をお祈り致します。

能登半島地震は2024年(令和6年)1月1日16時10分に日本の石川県能登半島にある鳳珠郡穴水町の北東42kmを震央として発生した地震。マグニチュード7.6震源の深さは16km。2020年12月頃から活発な群発地震活動が続いており、2024年の地震はその中で発生したのです。

1ヶ月たった今でも安否不明者は19人、死者は238人、災害関連死は15人と多くの人が一瞬にして命を奪われ、多くの人々が極寒の中、さらに水不足と電気の通らない中、寒さに耐え、食物もない、非常に辛い日々を耐え忍んでいます。

### 一方こんな現状もあります。

能登牛の生産者、涙の廃業、苦渋の決断...

30年以上能登牛を育ててきた畜産農家。鉄骨作りの牛舎は崩れ、断水が続く牧場で、牛が「水をくれ」と、会話が

聞こえない程鳴く。1日50トンの水が必要だが、水が枯渇している為、エサも食べず死んでいく牛。ついに涙の廃業となりました。

珠州市と輪島市で仮設住宅の入所が始まり、被災地での生活再建の動きが本格化してきました。被害が特に大きかった珠州市と輪島市では合わせて115戸の仮設住宅の建設を1ヶ月で完成できるよう目指しています。

この能登半島地震で深刻な被害を受けた石川県珠州市では災害ボランティアの活動が始まっています。

一日も早く市民の生活を再建させたいと、自分自身が被災者でもある市役所の職員や、自衛隊員、医師、全国各地からのボランティアの人々が睡眠を削っての救援活動を行っています。「ふるさと納税返礼品なし」も多くの人が支援しています。「頑張ってください！」...と思いを込めて、私もすぐに手続きをしました。

### 「誰とも話さないのが寂しくてたまらない...」

### 自宅の車庫でカフェ

**1人の女性の「おっせかい」から始まり** 今や満員御礼！参加者の最高齢はなんと98歳！2月4日の日曜日、愛媛県松山市内の住宅のガレージを活用しカフェが開かれ、地域のお年寄り達が交流を楽しんでいました。

### そのきっかけは...発案、実行者の前田直子さん

コロナ禍から1年近く経った頃、お隣の人が「コロナ禍で誰とも話さないのが寂しくてたまらない」と話されたので「うちの車庫だったらお茶飲みますか？」との問いに「それなら行く」と言ってくれたのです。そこで、前々から考えていたことを実現しようと、地域のお年寄り同志が気軽に交流しながら気力と体力の維持、向上を目指せる場所をと、毎月2回、週末に自宅の車庫を解放して、催しを始めたのです。お菓子や飲み物などは参加者が持ち寄り、手作りで温かみのあるガレージカフェは次第に評判になったのです。お年寄りの見守りといった福祉活動からも注目され「地域のお宝」として、松山市の社会福祉協議会が開いたイベントでも紹介されました。



### 「好きです」と アドレス間違え 母さんに



信頼と実績で皆様に愛されて37年！  
生命保険・不動産の売却・買い取り すべてお任せください！



株式会社 **ASADA**  
オフィス

代表取締役 **麻田 春江**

住所：〒302-0015 茨城県取手市井野台1-7-28 E-mail: officeasada220@gmail.com  
TEL: 0297-72-2401 FAX: 0297-72-6217 URL: https://officeasada.com

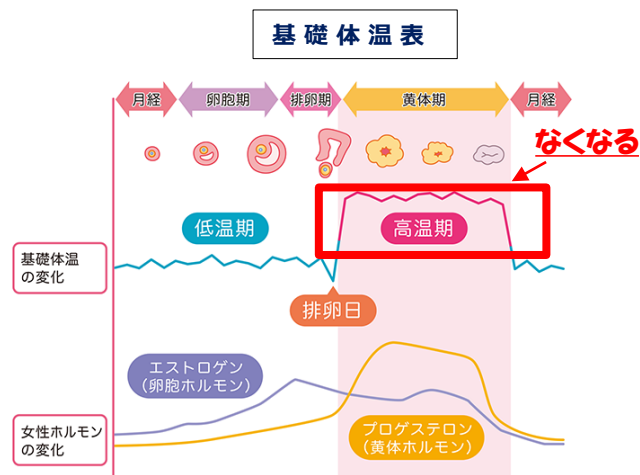


# I 「女性外来」の先駆者 対馬ルリ子氏 一流から学ぶ シリーズII

## 更年期と向き合う

更年期は閉経の前後10年ということですが、閉経の時期はわかるのでしょうか。

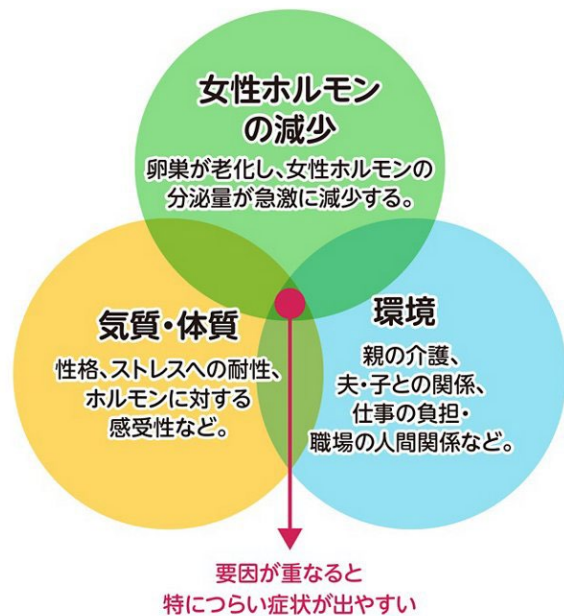
婦人科で採血検査し、女性ホルモンの数値を調べるとおおよそ閉経かどうかはわかります。エストロゲンの分泌が低く、脳から卵巣にむけての指令となる卵胞刺激ホルモンが高くなっていることが手掛かりとなります。必ずしもホルモン数値にはっきり表れないこともあります。更年期の不調かどうかは、年齢や症状、治療への反応性を加味して診断します。自分でできることは基礎体温を計ることです。高温期がなくなってきたら、閉経が近づいているということです。



厚生労働省研究班（東京大学医学部藤井班）監修

## 更年期の症状が出る人、出ない人の違いは。

親の介護や職場の人間関係、睡眠不足・・・  
環境の変化が引き金に



図のように、更年期症状が起きる三つの要因があります。直接的要因は、ホルモンの急激な減少です。次に、その方の気質やホルモン変化への感受性、体力や体質がかかわっています。PMS(月経前症候群)やつわりがひどい人も一方、あまり感じない人もいるのと同じです。特に影響があるのは、環境要因です。親の介護や、職場の環境や家族との関係悪化、睡眠不足が引き金となり、急に症状が出てくることも少なくありません。生活の2,3割以上落ちていたら「更年期障害」といいかもしれません。我慢せず治療をおすすめします。

忙しく働く女性は、更年期を自覚していない人も多いです。「仕事で大失敗した」ことがきっかけとなり、私のクリニックを訪れた人もいます。「ぼーっとして何を考えているかわからない」など、周りから指摘されて気づくのです。問診するうちに、不調は「生理が不規則になったところから」となり、「更年期じゃない？」ということもよくあります。

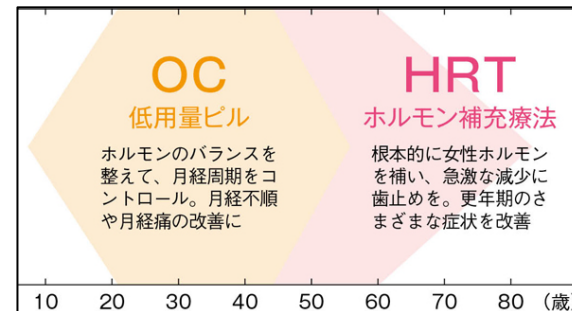


## 治療どうすれば？

更年期症状の治療法を教えてください。



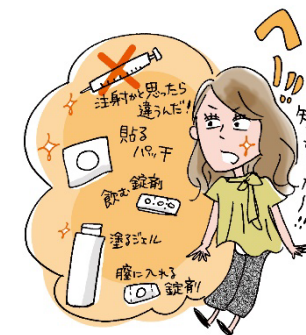
不調の原因は急激なホルモンの急降下をなだらかにして、パニックになっている脳を安定させてあげるのが一番です。閉経前なら低用量ピル、閉経後にはホルモン補充療法を使います。



低用量ピルには、エストロゲン(卵胞ホルモン)とプロゲステロン(黄体ホルモン)が含まれます。月経の時期をずらしたり、避妊のために使っていたホルモン量が多いピルに比べ、はるかに用量が少ない超低用量が主です。保険も適用されます。ホルモン変化に敏感な人は、半錠ずつからの服用にすることもあります。ピルを使うと二つの女性ホルモンの大きな波がなくなり、月経痛やPMS(月経前症候群)なども軽減します。

## ホルモン補充療法(HRT)とは？

不足した女性ホルモンを必要最低限補うことで、急激なホルモン減少による不調を改善します。保険適用です。エストロゲンを補うことが基本で、飲み薬だけでなく、パッチ(貼り薬)、ジェルなどの塗り薬、膣(ちつ)剤などいろいろあります。子宮のある人は、子宮体がん予防のため、子宮内膜の増殖を抑える目的で黄体ホルモンを併用します。



対馬ルリ子氏 (つしま・るりこ) 1958年生まれ  
対馬ルリ子 女性ライフクリニック 院長 医学博士  
産婦人科医師になって40年  
大学病院、国立・公立病院産婦人科をへて、現職  
2002年NPO法人「女性医療ネットワーク」設立  
一般財団法人日本女性財団 代表理事  
女性の健康を総合的に支援する女性専門外来の草分け

\*この記事は、赤旗日曜版編集部と対馬ルリ子氏の許可を得て掲載しています

## ～ 麻田春江より～

コロナウイルスに座を明け渡し出番がなかったインフルエンザが、近頃、今度は自分の番とばかり猛威を振るっています。では、コロナウイルスは消えたのかと思いきや、まだまだ「第9波」とほぼ同じ水準となっています。1月21日現在でインフルエンザの患者数は8万7318人、コロナ感染患者数は6万268人と国立感染症研究所が発表しています。専門家は「この2月、増加のペースが上がったインフルと同時に流行も心配な状況で2月にかけてはいま一度気を引き締めて、感染対策に当たって欲しい。特に高齢者や免疫不全の患者は、重症化しやすく入院につながってしまうので、最後のワクチン接種から4ヶ月以上たった人は、できるだけ早めに追加接種を受けるべきだ。若い人達も、高齢者などに感染を広げてしまうリスクを考えて、ワクチン接種を検討することが大事だ。」と話しています。

今回は新年明けて最初の「ASADA通信」です。バレンタインが近づいてきましたので、恒例の「六花亭のビターチョコ」も送らせて頂きました。ASADA通信は、皆様に少しでも喜んで頂きたいと始めてから106号になりました。17年6ヶ月の月日があっという間に流れた訳です。皆様の中には、麻田春江が記事を書いてもらっているのではと...いえいえ、全て私が書いています。試行錯誤の末に、自分の納得のいく文章が出来るまで何度も書き直して完成させたものです。「愛と情熱」がぎゅぎゅ詰まっているのです。現在4面は息子が受け持っています。まさに、親子通信です！